

第5回 臨床遺伝診療室セミナー

「千葉県の遺伝医療システムと 千葉大学遺伝子診療部」

千葉県では、あるべき遺伝医療の姿を議論しながら、関係諸機関と連携して、遺伝医療システムの構築を試みている。その連携の中核として千葉県遺伝医療研究会を立ち上げ、年2回のペースで運用している。直近では第7回を2018年11月20日に千葉大学医学部ゐのはな同窓会館で開催した。今回のテーマはかずさDNA研究所かずさ遺伝子検査室でNGS解析を担っている細川淳一先生とちば県民保健予防財団で遺伝カウンセリング外来を最近、立ち上げられた野村文夫千葉大学名誉教授であった。この2施設以外に千葉大学附属病院、千葉県こども病院、千葉県がんセンター、千葉東病院、さらに産科クリニックなどの遺伝医療に興味を持っている人材が参加している。対象疾患は、乳がん卵巣がん症候群、リンチ症候群などの遺伝性腫瘍、ハンチントン病などの遺伝性神経疾患、ミトコンドリア呼吸鎖異常症を含む先天代謝異常、マルファン症候群などの結合織疾患、ヌーナン症候群、CHARGE症候群などの先天異常症候群、多発性のう胞腎などの遺伝性腎疾患など多岐にわたる。今回は私が直接関与している千葉県こども病院遺伝科と千葉大学附属病院遺伝子診療部の症例を例として、どのような連携を目指しているかをご紹介します。



演者

千葉大学大学院 医学研究院公衆衛生学

羽田 明 先生

日時・
場所

2019年1月9日(水) 午後5時半から

シミュレーション講義室(教育医療棟7階)

本セミナーは、「大学院共通カリキュラム基本医科学講義」として認定を受けており、
受講により単位取得が可能です。

どなたでも聴講できます
事前予約の必要はありません
参加費は無料です

主催：獨協医科大学病院
臨床遺伝診療室
共催：獨協医学会
お問い合わせ：0282-87-2133
担当：公衆衛生学講座 中西